

海老名市、座間市、大和市、横浜市ほかの皆様へ

発達障害者自助会 ボランティアが発足しました

第3回

日時：令和3年10月24日（日）18～21時

会場：大和市文化創造拠点シリウス マルチスペース窓側

内容：語りの時間（フリートーク、テーマトーク）

オープン・ダイアログ

会費：300円（会場代、備品レンタル代）

対象：原則相鉄沿線の当事者優先。他沿線の当事者、当事者家族、支援者についても事前のご連絡をいただければ参加可能です。

参加申し込み・お問い合わせ：

10月22日（金）迄にメール又はTwitter DMで申し込みをしてください。

感染対策のため人数を制限することがあります。

必ず返信にて参加の可否や当日の注意事項等をご確認の上ご参加ください。

e-mail self.help.volante@gmail.com（ボランティア事務局）

Twitter @tamacotamacocco（たまこ、ボランティア代表）

主催：発達障害者自助会ボランティア（海老名市）

■当日、準備・片付け・受付等を手伝ってくださる方を募集しています。

お手伝いいただける方は申し込みの際にご連絡ください。

■オープンダイアログの実践に参加してみたい方を募集しています。

参加希望の方は申し込みの際にご連絡ください。

■今後も月1回シリウス（3階又は6階）にて開催予定です。

詳細はTwitter @tamacotamacocco、ホームページ <https://tamacocco.blog> でご確認ください。

その他ボランティア事務局 self.help.volante@gmail.com までお問い合わせください。

オープン・ダイアログ

(英語: Open Dialogue) とは、統合失調症に対する治療的介入の手法で、フィンランドの西ラップランド地方に位置するケロプダス病院のファミリー・セラピストを中心に、1980年代から実践されているものである[1]。「開かれた対話」と訳される[2]。統合失調症、うつ病、引きこもりなどの治療に大きな成果をあげており[3]、発達障害の治療法としても期待されている[4]。

1. 参加者の中で軽い自己紹介を行います。「相談者」以外は基本的に全員「相談に乗る人」として、「チーム」に参加してもらいます。
2. 代表者となった人は、軽い促しから相談者との「対話」を開始します。まずは、代表者から相談内容の確認と質問をします。
3. その後他の「相談に乗る人」はできるだけ「相談者」にいろいろな質問をし、対話を続けていきます。
4. 一通り質問が終わったら「リフレクティング」の時間になります。「リフレクティング」に入ったら「相談者」はミュートの状態になって頂きます。そしてこれから「相談に乗る人」達のチームで行われる意見交換を観察してもらいます。「相談に乗る人」達のチームは意見やアイデアを出し合います。個人的な意見・アイデアを述べる。お盆の上に意見を乗せていくイメージで、だれかの意見について議論はしません。
5. 一通りやりとりしたら、再び「相談者」にも加わってもらい再び「対話」を再開します。
6. 終わりの時間が近づいて来たら、「相談に乗る人」の代表者がしめくくりを始めます。最後に代表者が「今日決まったこと」を確認し、終了です。

[1]“週刊医学界新聞 ナーシングカフェ「『オープンダイアログ』ってなんだ!?’ 開催” (日本語). 医学書院. 2018年5月21日閲覧。

[2]“出版：精神科医・斎藤環さん「オープンダイアログとは何か」 妄想、幻覚 対話で抜け出す”. 毎日新聞 (2015年8月30日). 2015年10月5日時点のオリジナルよりアーカイブ。2018年1月21日閲覧。

[3]“「オープンダイアログ」とは=対話で精神病からの回復を目指す”. 2018年5月21日閲覧。

[4]“オープンダイアログで発達障害を治療 | 医療ニュース | Medical Tribune”. 2018年5月21日閲覧。

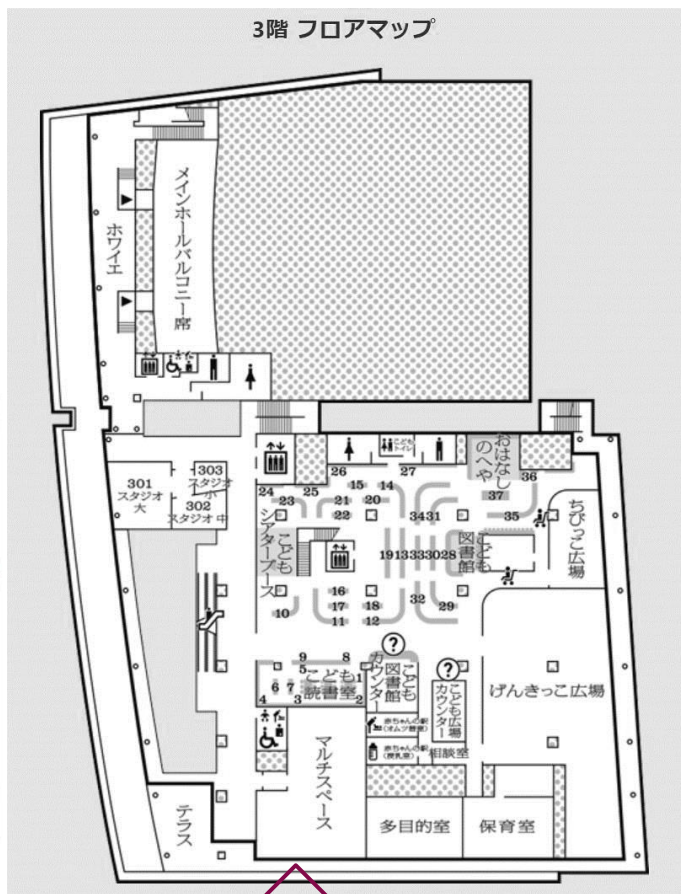
SiRiUS

大和市文化創造拠点シリウス

〒242-0016

神奈川県大和市大和南一丁目8番1号

小田急江ノ島線・相鉄本線 大和駅から徒歩3分



館内にローソン、スターバックス
コーヒーがあります。マルチスペース内は蓋の閉まる飲み物のみ持ち込み可、所定の場所のみ飲用可です。

この部屋の窓側です